

PLAMO 通信 21

前回に引き続きシミュレーションソフトウェアについて解説致します。

プラスチック射出成形業界においてお客様より頂戴した図面を基に金型の製作し、試作を行いながら寸法調整等、要求性能を満足させる製品に仕上げていきます。前号でも申した通り修正回数が少なければ良いのですが、満足しない性能である場合、繰り返し金型調整・試作を行わなければなりません。その段階でよく見かけるのが解決策をそもそも見いだせないのに、意味のない金型修正と試作を繰り返している現場です。

発注側と受注側の我慢比べともいえるこの行為は無駄なことであり避けたいところです。

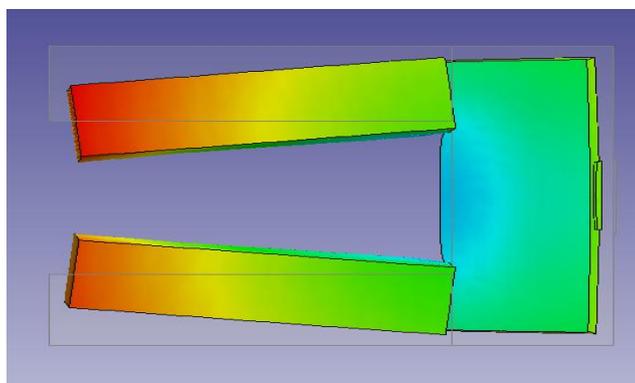
この根本的原因は成形業者がお客様から頂戴した図面、特に図面記載の寸法を含んだ要求性能を出せる見通しが無いのに受注したことであり、お客様としては満足できる製品を作りうる業者であるかの判断力を持っていないことにあります。この2つの判断ミスにより必然的に起こることと言えます。

当社が感じているプラスチック射出成形における重要な要素の割合を下記に示します。

製品設計技術	金型設計・製造技術	射出成形技術
5	3	2

満足のいく製品を作る上で最も重要な要素は射出成形に適合した製品設計にあるといえます。製品設計が100%の状況であればその後の金型製作、射出成形においてトラブルが起こることは殆どないと言えます。逆にいえば悪い製品設計・それに対応していない金型では射出成形技術のみでの対策は限界があると言えます。多くの射出成形技術者は射出成形の限界を痛いほど感じていると思いますし、解った上で対応策が講じられないもどかしさも感じていると思います。

当社においてシミュレーションソフトの最大の効果は射出成形に適合した製品設計への提案にあります。当社が以前から行ってきた商品開発技術は部品の使用目的を理解した上で製品の設計に対して形状のチューニングを行い、最適化した製品形状をご提案いたします。その際の予想をシミュレーションにより解析し、結果を提示することに役立てています。お客様と共に製品形状を作り込むことで強い信頼関係を構築しています。



(ソリ変形解析例)

次回よりいよいよ機能の詳細を説明いたします。ご期待下さい。

2020/5/11